

令和元年度大岡小学校 1年3組 クラスの学びを発信します！

いきもの げんき だいさくせん

学校探検をしているときに、「プールにテントウムシがいたよ。」「ウサギに草をあげたら食べてくれたよ。」のように、生き物のことを発表している子がいました。休み時間にプールに行ったときに、「ヤゴがいるよ。」「お兄ちゃんが1年生の時に育てていて、トンボになったよ。」という子がいて、「僕も捕まえて育ててみたい。」と、虫かごをもってきて、育てる子が増えていきました。

そこで、「今までに生き物育てたことありますか？」と聞くと、「ダンゴムシを育てたことがあります。」「カブトムシを家で育てています。」のように、今までも育てたことがある子もいました。しかし、「お家の人と一緒に」という子が多かったので、「捕まえた生き物を、自分たちの手で育ててみたい！」ということになり、「いきもの げんき だいさくせん」が始まりました。



プールでヤゴを捕まえたり、中庭の池でメダカ、ドジョウ、ヌマエビ、モノアラガイ、ギンヤンマのヤゴ、ヤモリを捕まえたり、学校や公園でダンゴムシ、カタツムリ、ザリガニを捕まえたりして、虫や水生生物がたくさんいることに気付きました。

みんなで育てていくうちに、「水替え作戦をしたよ。」「餌を毎日取り換えて、新鮮作戦をしているよ。」と作戦を考えたり相談したりするうちに、上手に育てられるようになってきました。さらに、「ドジョウの鬚は8本あるよ。」「ワラジムシがおんぶしていたよ。」と、生き物の特徴に気付き、詳しくなりました。ある日、「メダカが卵を産みました。」という子がいて、「おめでとう。」「今日が誕生日だね。」と、みんなで誕生を喜び合いました。「レンガを入れたら、上って遊びました。」という子に、「楽しいって言っているんじゃない？」と、生き物の気持ちを考えたり、大切に育てたりすることができるようになりました。